

2016

---

# 西いぶり広域連合議会会議録

---

第2回定例会

平成28年9月2日開会

平成28年9月2日閉会

西いぶり広域連合議会

## 平成28年第2回西いぶり広域連合議会定例会審議日程

(会期1日間)

月 日	曜	会議区分	会議時間	会議内容
9. 2	金	本会議	14:00~14:40	開会、会期の決定、議案説明、質疑、議案の議決、一般質問、閉会

## 平成28年第2回西いぶり広域連合議会定例会議決結果表

会期 平成28年9月2日（金）（1日）

番 号	件 名	提 出 年 月 日	付託委員会	議 決 結 果
			付託年月日	議決年月日
議案第 1 号	財産取得の件（帳票処理機器製本機）	28. 9. 2		原 案 可 決
				28. 9. 2
認定第 1 号	平成27年度西いぶり広域連合一般会計 歳入歳出決算	28. 9. 2		認 定
				28. 9. 2
その他会議に 付した事件	会期の決定			決 定
				28. 9. 2

# 目 次

## 第1号（平成28年9月2日）

議事日程	1
会議に付した事件	1
出席議員	1
説明員	1
事務局出席職員	1
開会宣告	1
諸般の報告	1
○佐賀議会議務局長	2
日程第1 会議録署名議員の指名（早坂 博議員、辻 弘之議員）	2
日程第2 会期の決定（9月2日 1日）	2
日程第3 議案第1号、認定第1号（議案説明）	2
○小泉事務管理者	2
○細川 昭広議員	3
○高橋事務局長	4
○細川 昭広議員	4
○高橋事務局長	4
○細川 昭広議員	4
○高橋事務局長	4
○細川 昭広議員	4
○高橋事務局長	4
○細川 昭広議員	5
○高橋事務局長	5
○細川 昭広議員	5
○高橋事務局長	5
日程第4 一般質問	5
○細川 昭広議員	5
○高橋事務局長	7
○細川 昭広議員	8
○高橋事務局長	8
○細川 昭広議員	8
○高橋事務局長	8
○細川 昭広議員	9
○高橋事務局長	9
○細川 昭広議員	9
○高橋事務局長	9

○細川 昭広議員	9
○高橋事務局長	9
○細川 昭広議員	9
○高橋事務局長	10
○細川 昭広議員	10
閉会宣告	10

平成28年9月2日（金曜日）

第 1 号

平成28年 第2回定例会

西いぶり広域連合議会会議録 第1号

平成28年9月2日(金曜日)

午後 2時00分 開会

午後 2時40分 閉会

○議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 会期の決定  
日程第3 議案第1号、認定第1号  
日程第4 一般質問

○会議に付した事件

- 1 諸般の報告  
2 日程第1  
3 日程第2  
4 日程第3  
5 委員会付託省略  
6 日程第4

○出席議員(15名)

議長	15番	岡田 健一
副議長	14番	吉村 俊幸
	1番	下道 英明
	2番	五十嵐 篤雄
	3番	森 太郎
	4番	佐藤 恣
	5番	山田 秀人
	6番	木村 辰二
	7番	児玉 智明
	8番	細川 昭広
	9番	早坂 博
	10番	辻 弘之
	11番	村井 寿行
	12番	寺島 徹
	13番	阿部 正明

○説明員

広域連合長	青山 剛
副広域連合長	小笠原 春一
副広域連合長	菊谷 秀吉
副広域連合長	村井 洋一
副広域連合長	佐藤 秀敏
副広域連合長	真屋 敏春
事務管理者	小泉 賢一
代表監査委員	土倉 崇
事務局 局長	高橋 淳
総務課 課長	田所 和久
総務課 主幹	加納 正敏
総務課 主幹	坂口 淳
共同電算室 主幹	佐久間 樹

○事務局出席職員

事務局 局長	佐賀 孝志
議事課 課長	瀧浪 孝行
議事係 課長	岩間 光城
主査	加藤 優嗣
書記	丸尾 栄基

午後 2時00分 開会

○議長(岡田 健一) ただいまから、平成28年第2回西いぶり広域連合議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

諸般の報告をさせます。

佐賀事務局長

**○議会事務局長(佐賀 孝志)** 御報告申し上げます。

今回提案されております案件は、広域連合長提案にかかわるもの2件でございます。

次に、地方自治法及び同法施行令の規定に基づき、広域連合長並びに監査委員からお手元に配付のとおりそれぞれ報告がございました。

次に、議案説明のため、広域連合長ほか関係役職員の出席を求めています。

以上でございます。

#### 諸 般 の 報 告

1 地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、広域連合長から報告のあった事件  
平成27年度繰越明許費繰越の報告について

(1) 一般会計

2 地方自治法第235条の2第3項の規定に基づき、監査委員から提出のあった事件  
例月現金出納検査結果報告について  
(一般会計 平成27年12月分～平成28年6月分)

上記のとおり報告します。

平成28年9月2日

西いぶり広域連合議会  
議長 岡 田 健 一

**○議長(岡田 健一)** 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に、早坂 博議員並びに辻 弘之議員を指名いたします。

**○議長(岡田 健一)** 次は、日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今定例会の会期は、本日1日とすることに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(岡田 健一)** 異議なしと認めますので、会期は1日と決定いたしました。

**○議長(岡田 健一)** 次は、日程第3 議案第1号財産取得の件(帳票処理機器製本機)外1件を一括議題といたします。

議案第1号 財産取得の件(帳票処理機器製本機)

認定第1号 平成27年度西いぶり広域連合一般会計歳入歳出決算

**○議長(岡田 健一)** 提出者の説明を求めます。

小泉事務管理者

**○事務管理者(小泉 賢一)** ただいま議題となりました各案件につきまして、順次御説明を申し上げます。

初めに、議案第1号財産取得の件(帳票処理機器製本機)でございます。

本件は、共同電算に係る帳票処理機器製本機一式を取得するものでございます。

取得物件の内訳でございますが、議案第1号参考でございますようにコンフィア糊綴じ製本機、二つ折りユニット、L型インタースタッカーとなっております。取得価格につきましては、2,140万5,600円に平成28年度から32年度まで5年間の元金均等年2回払い分の年利0.1%の利子を加えた額となっております。

なお、契約の相手先でございます北海道市町村備荒資金組合から平成28年9月末に譲渡の予定でございます。

以上でございます。

よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げます。

続きまして、認定第1号平成27年度西いぶ

り広域連合一般会計歳入歳出決算につきまして御説明を申し上げます。

平成27年度の予算は、廃棄物中間処理施設の運転保守管理業務委託と効率的な行政運営を目指した共同電算事業を柱に、内部経費の節減に努める中で関係市町からの負担金により編成をいたしたところでございます。

予算の執行状況につきましては、廃棄物中間処理施設運営会社への特例委託費の支出などもありましたが、計画いたしました事業につきまして予算計上の目的に沿い執行いたしましたところでございます。

この結果、18ページの実質収支に関する調書をごらんいただきたいと存じます。歳入総額は27億1,783万1,000円に対し、歳出総額は27億1,694万円となり、実質収支額は89万1,000円となっております。

この主な内容を歳入から御説明させていただきます。2ページにお戻りいただきたいと存じます。

予算現額と収入済額との比較で、第1款分担金及び負担金では、情報処理費、ごみ処理費で不用額が生じたことなどにより2億3,649万9,000円の減、第2款使用料及び手数料では、事業系ごみ量の増加により1,877万2,000円の増、第3款財産収入では、アルミ缶の売り払い量アップなどにより168万3,000円の増、第5款諸収入では、容器包装リサイクル協会からの拠出金や室蘭市の火災フェリー受け入れに伴い、船会社から廃棄物処理費用の負担があったことなどにより754万1,000円の増となっております。

次に、4ページの歳出でございますが、主に不用額の面から御説明を申し上げます。

第1款議会費では、常任委員会開催数の減などにより41万5,000円の不用額、第2款総務費では、公用車のリース契約への切りかえに伴う契約差金などにより40万6,000円の

不用額、第3款情報処理費では、制度改正に伴うシステム改修の仕様変更などにより1,126万4,000円の不用額、第4款ごみ処理費では、メルトタワーの保守管理で点検結果に基づき、ダクト関連設備の更新時期を次年度以降へと変更したことに伴う運営会社への特例委託費の減などにより1億49万6,000円の不用額、第5款土木費では、中間処理施設からの余熱供給分電気料の減などにより335万4,000円の不用額、第7款公債費では、利率見直しに伴う土木公債費利子の減などにより19万3,000円の不用額、第8款職員費では、派遣職員の交代による給与費負担金の減などにより156万7,000円の不用額が生じてございます。

以上が、平成27年度一般会計決算の概要でございます。

なお、19ページ～22ページは財産に関する調書、23ページからは平成27年度一般会計決算に係る主要な施策の成果等報告書を添付してございまして、予算執行の概要、主要施策の成果概要のほか、主な事務事業に関する決算額及び財源内訳、また施設の利用状況等を掲載してございますので御参照いただきたいと存じます。

以上で、説明を終わらせていただきます。

御認定賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

**○議長(岡田 健一)** 質疑を行います。

初めに、議案第1号財産取得の件(帳票処理機器製本機)について質疑を行います。

質疑はありませんか。

細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** ただいま、財産取得の件の説明を受けたわけですがけれども、若干いろいろお聞きしたいと思います。

今回取得する機器の法定耐用年数、さらに現在導入されている機器の導入費用、さらに今回

更新理由をどのようなことでなっているのか、この3点についてまずお聞きしたいと思います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 今御質問ありました法定耐用年数でございますが、糊綴じ製本機の場合5年となっております。

また、現在導入されている機器は封入封緘機と一体で取得しておりまして、かかった経費は合わせて5,448万4,500円でございます。また、更新理由でございますけれども、糊綴じ製本機は各市町の納付書を製本するために使用する機器でございます。平成19年度の整備から9年が経過しておりましたので、昨年10月にメーカーによる診断を受けたところ、構成部品の摩耗、劣化が著しいことに加え、フレームの金属疲労が進行しているなど機器が老朽化しておりまして、今後の納付書製本作業に支障を来すおそれがありますことから更新するものがございます。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** ただいまの御答弁では、構成部品の摩耗、劣化に加えて金属疲労している部分もあるとそういうようなことですが、使用頻度が大変高いようでございますが、年間どのくらいの処理量があるのかお伺いしたいと思います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 平成27年度実績では、3市1町合わせまして年間34万8,913通処理しておりまして、毎年35万通程度処理しております。

以上です。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** 35万通処理しているということで、相当の数の処理量でございます。今回こういう財産取得で帳票処理機器製本機ですか、購入するわけですが、今回これ以

外の西いぶりデータセンターの設備で更新時期を迎えるものがあれば伺っておきたいと思いません。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 業務システムを別にしますと、帳票処理機器関連では封入封緘機もことしで10年目を迎えますことから、機器の状況を見ながら更新時期を検討してまいります。また、無停電電源装置及び自家発電機並びにマシン室空調設備や居室の空調設備などいずれも設備後10年を迎えますことから、計画的に更新を検討する必要があると考えております。

以上です。

**○議長(岡田 健一)** ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(岡田 健一)** ないようなので、以上で議案第1号の質疑を終了いたします。

次に、認定第1号平成27年度西いぶり広域連合一般会計歳入歳出決算について質疑を行います。

質疑はありませんか。

細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** それでは平成27年度西いぶり広域連合一般会計歳入歳出決算のうち、ごみ処分手数料についてお伺いしたいと思います。

歳入の第2款使用料及び手数料中、ごみ処分手数料についてお聞きしたいと思うのですが、予算額が1億2,393万4,000円に対し、決算額が1億4,266万1,000円と1,872万7,000円ほど増加しておりますが、その要因をお伺いしたいと思います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** ごみ処分手数料がふえた要因でございますけれども、構成市町のごみの搬入量が予算を約2,871トン上回ったためでございます。特に室蘭市が約1,098

トン、伊達市が約1,526トン上回っております。

以上です。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** 各町のごみ搬入量が予算よりも上回ったという答弁がございましたが、室蘭市、伊達市のそれぞれの理由を伺いたいと思います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 室蘭市につきましては、昨年7月末に苫小牧沖で発生したフェリー火災により発生した廃棄物約412トンと市有地から土を取る際に出た草など639トン、伊達市につきましては、水産系雑物が例年より大量に発生したため1,479トンを広域連合にて処理したためでございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** フェリー火災により発生した廃棄物については、事務管理者の提案説明の中にもありましたが、第5款諸収入の中のごみ処理費雑入の欄にもフェリー火災廃棄物処理費用収入と記載されておりますが、室蘭市の草などや伊達市の水産系雑物は記載されておられません。これはどのような違いがあるのかについて伺いしておきたいと思います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 一般的なメルトタワーへのごみの持ち込みにつきましては、ごみを持ち込んだ方が手数料を支払い残りの経費につきましては年度ごとにごみ量に応じて案分し各市町が負担しておりますけれども、このたびのフェリー火災廃棄物につきましては、フェリー会社と室蘭市との協議の結果により、かかる費用は全額フェリー会社の負担としてごみ処分手数料のほか経費から手数料を引いた金額を雑入として受け入れたため、ほかとは異なった扱いとなったものでございます。

**○議長(岡田 健一)** ほかに質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(岡田 健一)** ないようでありますので、以上で認定第1号の質疑を終了いたします。お諮りいたします。

ただいま議題となっております案件は、委員会付託を省略することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(岡田 健一)** 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

これより採決を行います。

最初に、議案第1号財産取得の件(帳票処理機器製本機)を採決いたします。

議案第1号は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(岡田 健一)** 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

次に、認定第1号平成27年度西いぶり広域連合一般会計歳入歳出決算を採決いたします。

認定第1号は、認定することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(岡田 健一)** 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

---

**○議長(岡田 健一)** 次は、日程第4 一般質問を行います。

通告がありますので、発言を許します。

細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)**(登壇) 平成28年第3回西いぶり広域連合議会定例会に当たり、通告に従い質問をさせていただきます。

最初に、自然災害の脅威では本年全国に台風被害が出ており、特に大型台風10号は東北を横断し西胆振を初め道内各地に大雨、強風の被害が相次ぎました。被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げますとともに、以前と変わらぬ生

活を取り戻すため1日も早い復旧を願うところであります。

さて、連日明け方までテレビに見入った方も多かったリオデジャネイロ五輪が閉幕し、多くの日本選手の活躍が目立ちました。開催都市のさまざまな課題を乗り越え、順調に大会が終えたことに拍手を送るとともに、スポーツを通じた世界平和の貢献をうたうオリンピック憲章を一層具現化するために4年後の東京五輪は地方都市もおもてなしや受け入れ態勢などの環境整備に貢献することが重要と考えます。

また、本年3月26日開業した北海道新幹線を契機に西胆振などの観光資源を一層世界にも発信することは滞在型、滞留型などの交流人口増に大いにつながると考えます。今後、人口減少社会などにより、ごみの減少が予想されますが、自然災害はもちろんのこと新幹線や東京五輪などによる交流人口の増加も見据え、ごみ処理施設の安全・安心そして安定的な施設運営が重要と考えるところであります。

それでは、質問に入らせていただきます。

先月5日の総務常任委員会にて廃棄物処理施設の整備方針の検討状況の中間報告がなされ、プロポーザル方式により選定された業者により現在検討を進めており、11月にも方向性の案が出るのとことごとございませう。今後のごみ焼却施設整備について5点ほど伺いたいと思ひます。

焼却施設整備の検討結果が更新となった場合には、もちろん長寿命化の場合でも非常に大規模な改修となり、いずれの場合も現施設を稼働させながらの対応、言いかえると現在の業務に加え、交付金の手続き、工事のスケジュール管理、地域住民や業者などとのさまざまな対応がふえることとなりますが、現行体制で進めることが可能なのか、それとも増員を予定しているのか、現在の事務局の体制及びメルトタワー建設時の体制、可能であれば技術職員数はどの程度いたのかも含め伺いたいと思ひます。

次に、特定目的会社社員の雇用継続について。

メルトタワーの運転、保守を委託している西胆振環境株式会社は、その目的のため設立された特定目的会社であるため有限の雇用となっており、長寿命化との結論となった場合においても、いずれは施設の更新を迎えることになり、更新となった場合にはさらに会社の存続期間が短くなるため将来に不安を持つ従業員の方々もおられると思ひます。現在の西胆振環境株式会社の社員の今後の雇用について見解を伺ひます。

次に、住民説明について。

施設の更新の場合でも、施設を稼働させながら現敷地内で施設整備を想定しており、現廃棄物広域処理施設の建設に当たっての住民との協議、また合意の書面についてはさきの定例会で伺ったところでありませう。そこで、施設整備検討についての住民説明はどのようにされているのか、また今後の住民説明の予定について伺ひます。

次に、他自治体からのごみ受け入れについて。

施設整備検討の結果、更新の方針となった場合には、登別市や白老町なども含めた検討をすると説明を受けておりますが、これをさらに進め広域連合の近隣市町村にも声をかけ、スケールメリットを生かして構成市町の負担軽減につながることも検討すべきと考えますが御見解を伺ひます。

次に、関連施設整備について伺ひます。

8月24日開催の総務常任委員会にて、げんき館ペトル及びリサイクルプラザについての指定管理者の施設管理運営評価について報告がありました。その中で、両施設とも老朽化が進んでいるとの説明もあり、またごみ焼却施設整備の検討の中でこれらの関連施設も継続運用を前提に考えているということでありませうが、今後の両施設の整備検討の考え方についてお伺ひをいたします。

○議長(岡田 健一) 答弁を求めませう。

高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 細川議員の今後のごみ焼却施設整備についての御質問に順次お答え申し上げます。

1点目の整備体制についてでございます。

最初に、現在の専任の事務局体制でございますけれども、正職員は事務局長1名、共同電算室2名、総務課6名の9名体制となっております。また、総務課6名のうち2名が技術職員でございます。

次に、メルタワーの構想、設計、建設時の事務局体制でございますけれども、広域連合が設立した平成12年3月の構成は、事務局長は室蘭市市民生活部長が併任でございまして、専任の職員は事務局次長以下7名で、うち技術職員は4名でございました。

次に、現行体制で施設整備が可能かということにつきましては、施設整備に関する業務増に加えまして、リサイクルプラザやげんき館ペトトルも稼働から14年目に入っているほか、最終処分場も室蘭市が所有していた時代から数えますと稼働から22年近く経過しておりまして、近年は施設の老朽化により技術職員の業務量は増加しておりますけれども、昨年7月より施設整備検討のため技術職員1名を増員しておりますことから、整備の方向性が長寿命化であれば、現行の体制で対応可能と考えております。

また、施設更新の場合は基本構想から基本設計、工事作業量とも長寿命化の大改修よりさらに多くの業務増となりますことから、現状の人員ではかなり厳しい状況となるものと考えております。しかしながら、構成市町も行政改革による職員数の減により、さらなる職員の派遣も容易にはできないものと推察されますので、更新との結論に至った場合は構成市町の人事部門と改めて協議が必要と考えております。

次に、2点目のメルタワーの特定目的会社の西胆振環境株式会社の雇用継続についてでござ

いますけれども、長寿命化との判断となった場合には、プラントメーカーの三井造船や西胆振環境と相談しながら来年度以降に地域計画や長寿命化計画を策定し、それに基づき長寿命化を進めていくこととなりますので、その場合は当然西胆振環境には引き続き運営をお願いしたいと考えており、当面は雇用についての心配はないものと考えております。また、建てかえとの判断となった場合は従業員の雇用は最重要課題の一つと捉えており、可能な限り雇用の継続に向けて努めてまいりたいと考えております。

次に、3点目の住民説明でございます。

本年2月21日の石川町会を皮切りに、崎守町会、白鳥台連合町会、黄金地区環境保全協会の4つの地元町内会等に対しまして、町会の役員会などの前の時間をお借りしまして、施設整備検討に至った経緯や検討スケジュールなど2月10日開催の総務常任委員会で報告した内容を中心に説明させていただいております。今後の住民説明の予定でございますけれども、直近では、先月の総務常任委員会で報告いたしました施設整備検討の中間報告概要につきまして今月内をめぐりに地元町内会等に説明したいと考えております。その後は11月に委員会報告を予定しております比較検討報告書案など、議会報告などの節目ごとに説明してまいりたいと考えております。

次に、4点目の他自治体からのごみの受け入れについてでございます。

登別市と白老町につきましては、平成11年3月に策定の西胆振地域廃棄物広域処理基本構想に基づき更新との結論となった際には現在の5市町の枠組みで更新するか、登別市、白老町も加えた7市町での枠組みで更新するかを協議していくこととなりまして、現在、コンサルに委託しております施設整備検討業務の中でも現在の枠組でのライフサイクルコストに加え、登別市、白老町も含めたライフサイクルコストも

参考に出してもらおうこととしております。また、廃棄物課長職会議に登別市、白老町の廃棄物担当者もオブザーバー参加し、更新となった場合には速やかに協議に入ることができる下地を整えております。

しかしながら、さらなる拡大となりますと、どのような構成となるのかから始まりまして、それに応じて施設規模なども変更となるため、ライフサイクルコストの試算の再度の委託が必要になるなど相当の時間を要し、新施設の稼働年が大幅におくれることが予想され、構成市町の理解を得られるかは不透明な状況と考えております。

次に、5点目の関連施設整備についてでございますけれども、メルトタワーの関連施設であります、げんき館ペトルとリサイクルプラザにつきましては、今のところ大規模改修は考えておりませんが、げんき館ペトルの床暖房の不凍液交換やポンプの交換、リサイクルプラザではベルトコンベアのゴムベルトや減速機の更新等、設備関係の更新は順次実施しております。今後はげんき館ペトルの券売機や監視カメラ設備、リサイクルプラザでは工場機械の制御盤などの更新についても優先度の高いものから検討していくと考えてございます。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** それでは、各項目ごとに質問をさせていただきたいと思っております。

最初に、整備体制でございますが、更新との結論となった場合には職員は必要だが構成市町とのことを考えると簡単に職員増にはならないとの御答弁内容だったというふうには受けとめましたが、人数的なものはそのように理解をいたしました。例えば、新たな施設整備の組織を設けるなど、機構改正により効率化を図ることも考えられますが、これまでの広域連合の機構改正の経緯も含め考えをお伺いしたいと思いま

す。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 広域連合事務局の機構の変遷につきましては、広域連合が設立した平成12年3月時点では総務課と施設課の2課体制でスタートいたしまして、平成18年11月に共同電算準備室を設置するとともに、施設課を廃止して現在と同じ1室1課体制となっております。また、1室1課は変更ございませんが、平成20年1月より共同電算を開始したことにより同年4月より共同電算準備室を共同電算室に名称を改めております。

次に、施設更新の場合、広域連合設立時にあった施設課などのように独立した組織を新たに設置するなどの機構改正の考えでございますが、その後のスケジュールや業務量を勘案しながら検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** 長寿命化であっても相当の金額が見込まれ、施設更新ともなるとメルトタワー建設時のことを踏まえますと、西胆振地域でも規模の大変大きなプロジェクトとなりますので十分検討した体制を進めていただくよう要望してこの質問は終わりたいと思っております。

次に、社員の雇用継続についてであります。可能な限り雇用の継続に向けて努力をするとの答弁内容だったと思っておりますが、メルトタワーと同じDBOの手法であれば特定目的会社またはプラントメーカーの直接運営となりいずれの場合も民間会社が運営することになりますが、雇用をどのように確保していくのかこの点についてお伺いしたいと思っております。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 例えば、入札の条件に新しい受託会社には西胆振環境の社員の採用を優先させることを付け加えるなどの方法を想定してございます。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** 施設によっては現状よりも少ない人数で運転できる施設もあると思いますが、こういった場合でも全員雇用する方針というふうに考えているのかお伺いしておきたいと思います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 仮に、新施設が現状より少ない人数で運転できる施設の場合には必要な人数の雇用となりますが、その際には、西胆振環境やその親会社である三井造船、日本製鋼所などと緊密に協議し、さまざまな方法や知恵を駆使して雇用継続に最大限の努力をしてみたいと考えております。いずれにいたしましても、この地域の廃棄物処理事業はどのような形であれ続けていかなければなりませんので、広域連合では西胆振環境の従業員の皆さんには今後も西胆振地域の廃棄物広域処理事業に力をお貸しいただきたいと考えております。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** わかりました。しっかり対応していただきたいと思います。

次に、住民説明でございますが、さきの定例会でも私一般質問をさせていただきましたけれども、しっかり住民の方にはその都度理解をしていただくような説明の仕方、そして納得していただくような説明の仕方を十分踏まえてお願いをしたいと思います。

次に、他自治体からのゴミ受け入れについてでございますが、先ほど御答弁では今回大変厳しいということでもございました。長寿命化との結論であれば更新時期に、また更新との結論であれば次回の更新時にさらなる広域化を目指すべきと、私は非常にそのように考えておりますけれども、相当長い話になりますけれどもその辺も踏まえて御答弁をお願いしたいと思います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 今回の、次の施設整備の検討でさらなる広域化を目指す考えについてでございますが、今回の長寿命化あるいは更新の次の施設整備の検討ではその時点における構成市町や人口や経済などの地域事情を勘案し、構成市町の負担軽減につながるなどの効果的な施設整備のあり方についてさまざまな検討がなされるものと考えておりますけれども、さらなる広域化につきましてもその検討項目の一つになり得るものと考えてございます。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** わかりました。次に行きます。

関連施設整備についてですが、関連施設の老朽などの対応は優先度の高いものから検討をしていくということでもございましたが、継続を前提に考えている理由についてお伺いしたいと思います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** リサイクルプラザにつきましても、主に瓶、缶、ペットボトルの資源ごみを中間処理しております。今後も循環型社会推進に寄与する施設と考えております。また、げんき館ペットボトルにつきましても、地元の要望に応える形で建てられ、現在は地域住民の健康増進に寄与する施設として定着しておりますことから両施設とも今後もこの地域には必要な施設と考えております。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** 2つとも大変地域に必要な施設ということは理解いたしました。そのげんき館ペットボトルですが、室蘭市、登別市、伊達市の市営プールでは、プール使用後のシャンプーや石けんの使用が認められておりますが、げんき館ペットボトルでは依然として使用ができな

いと聞いております。登別市では市民プールの平成16年オープンより使用可能で、伊達市では旧市民プールでは排水の関係で使用できませんでしたが平成26年の新プールのオープンより使用可能となり、室蘭市では市内の銭湯経営者への配慮のため使用を控えていましたが、昨年利用者に施設利用のアンケートをとり、シャンプーや石けん希望者が6割を超えていた結果をもとに、ことしからシャンプーと石けんの利用が可能となりました。当広域連合も伊達市や室蘭市の実情に合わせ利用を禁止しておりましたが、両市も使用可能となった今、使用できるようにすべきと考えますが御見解を伺います。

**○議長(岡田 健一)** 高橋事務局長

**○事務局長(高橋 淳)** 当連合のげんき館ペトトルは周辺の実情、とりわけ施設の所在地である室蘭市に合わせシャンプーや石けんの使用を禁止しておりますが、本年1月より室蘭市でも使用が可能となり、プール使用後に塩素などをシャンプーや石けんなどで洗い落としたいという利用者の気持ちも十分理解できる場所がありますので、室蘭市と同様に利用者アンケートの実施や室蘭浴場組合との協議を実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** 細川 昭広議員

**○8番(細川 昭広)** この件につきましては、前向きに進めて利用者に喜ばれる施設となるよう早急にしっかり取り組んでいただきたいことをお願いをして終わります。

以上でございます。

**○議長(岡田 健一)** これをもちまして、一般質問を終了いたします。

---

**○議長(岡田 健一)** 以上で、今定例会に提案されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもちまして、平成28年第2回西いぶ

り広域連合議会定例会を閉会いたします。

---

午後 2時40分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、  
ここに署名する。

議 長 岡 田 健 一

署 名 議 員 早 坂 博

署 名 議 員 辻 弘 之